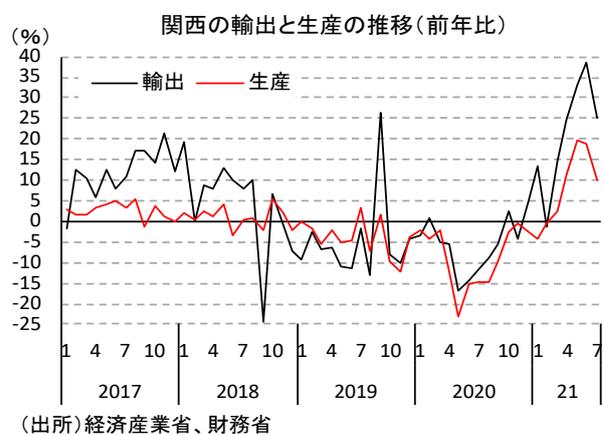
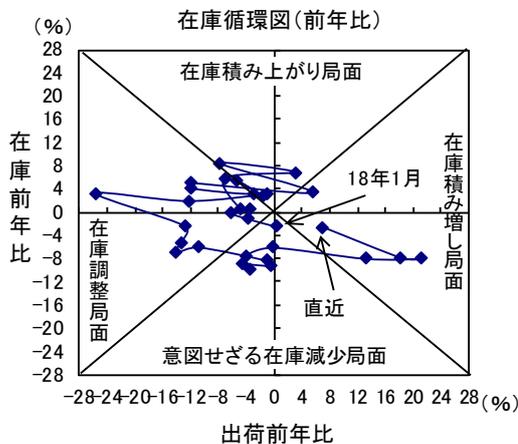
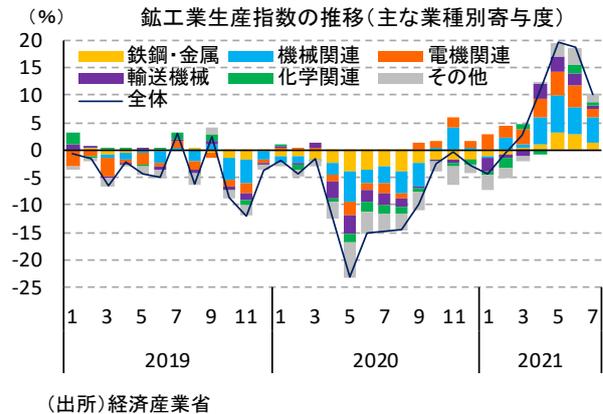
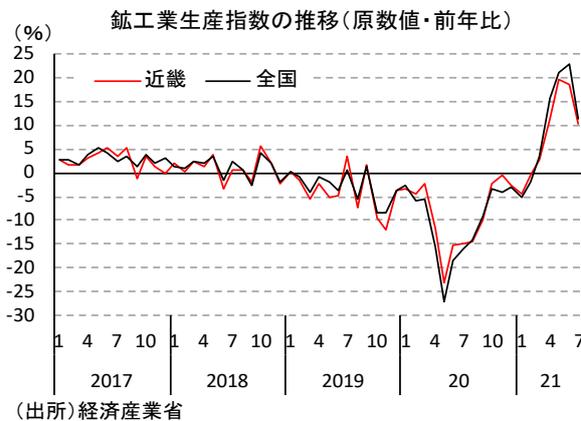


関西の景気トピックス【鉱工業指数（21年7月）】

- 21年7月の鉱工業生産動向（近畿経済産業局）の速報データによると、生産（原数値）は前年比で10.2%増と、5か月連続の増加となった。ただし、2年前比では6.2%の減少となっている。業種別の推移では、前月に続き、機械関連が前年の反動等で増勢を維持したが、その他の業種は全体的に伸びが鈍化し、全体的にも増加幅が縮小した。
- 在庫循環の動きをみると、前月と同様に、需要の増加に備えて在庫を増やす「在庫積み増し局面」となっている。
- 生産と輸出の関係を見ると、両者には一定の連動性が存在し、概ね20年5月を底にした回復基調が続いている。今後もコロナの影響からの世界的な需要回復や5G、EVといった新たな需要を背景に、当面は堅調な推移が期待される一方、アジアを中心にした感染拡大による影響には注意が必要とみられる。



※近畿の鉱工業指数に関する詳細は近畿経済産業局HPにてご確認ください。